

ユニオン本部は誰に

ユニオン本部の組織情報（No.410、412）で、「休日出勤解消」は我がJR東海ユニオンが責任を持って担うと決意？を明らかにしている。この決意？をみれば、さすが責任組合を自称するユニオン本部は頼もしいと思われる・・・しかし、「休日出勤解消に向けて責任を持って担う」ということは、「休日出勤」はまだ解消できないからこれからも取り組んでいくと言っていることである。つまり、ユニオン本部は現時点においても「休日出勤」を認めていることになる。

ユニオン本部は誰に向かって「責任を持って」という決意？を言っているのか？少しでも組合員に責任を持っているのなら、これ以上の「休日出勤」は認めないとなるのがあたりまえの労働組合だと思いが・・・

ユニオン本部は、JR東海労に対して「休日出勤解消」の代案を示しているのかとケチ付けをしている。ハッキリとしていることは、2年間にわたり適正な要員を確保しなかった責任は会社にある。さらに「休日出勤」を前提に要員確保をしている会社の姿勢を変えなければ、例え労働組合から代案を示しても受け入れられない。会社は拒否したが、JR東海労の主張をひとつ明らかにすれば、駅への乗務員の異動を中止し、足りない乗務員の要員を確保することである。ユニオン本部の代案にこの案は見あたらないが一考してはどうか。

責任を持って
いるのか！